

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業

(1) 「健康青森地域21」の推進について

ア 「健康あおもり21」、「健康青森地域21」推進のための普及啓発

事業名	事業の内容		
	開催年月日	開催場所	対象者等
① 各種会議			
青森地域保健医療推進協議会	H31.2.27(水)	ラ・プラス青い森	・青森地域保健医療推進協議会委員 ・医療対策部会員 ・保健対策部会員
管内保健師業務連絡会議	H31.1.29(火)	東地方保健所	町村及び保健所保健師
② 研修会・健康教育			
食生活改善推進員連絡協議会研修会	H30.5.18(金)	アピオあおもり	食生活改善推進員等 50名
東地方保健協力員連絡会研修会	H30.8.30(木)	今別町開発センター	管内保健協力員等 81名
管内食生活改善推進員連絡協議会合同料理講習会	H30.10.16(火)	アピオあおもり	管内食生活改善推進員等 27名
給食施設研修会 町村栄養改善研修会	H31.3.5(火)	アピオあおもり	管内給食従事者 28名 町村行政栄養士 3名
喫煙防止	別記：喫煙対策推進事業に掲載		
心の健康づくり	別記：心の健康づくり事業に掲載		
歯の健康	別記：歯科保健対策事業に掲載		
その他普及啓発	別記：地域・職域連携推進事業に掲載		
③ キャンペーン活動			
世界禁煙デー 禁煙週間	H30.5.31～6.6	ポスター掲示	
歯と口の健康週間	H30.6.4～6.10	ポスター掲示	
健康増進普及月間	H30.9.1～9.30	ポスター掲示	
保健所ホームページ	通年	空気クリーン施設・空気クリーン車両登録施設・車両のお知らせ	
その他普及啓発	通年	健康教育等	

(2) 喫煙対策推進事業

喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進

ア 「空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）」・「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」推進事業

健康づくりに良好な環境づくりを推進するために、施設内禁煙を実施している施設や飲食店に認証ステッカーを交付するとともに、掲載希望を確認の上、ホームページ等で公表している。

- 現地調査 12件
- ステッカー交付件数 13件

}

管内の建設関係事業所、飲食店、平内町斎場、
町村役場公用車 等

イ 普及啓発

世界禁煙デーにおける受動喫煙防止について、庁舎内に禁煙週間スローガン入りポスターの貼付及び、たばこに関するパンフレットの設置をした。

ウ 健康教育

東青地域県民局地域健康福祉部職員を対象に、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発のため、喫煙対策研修会（1回）を実施した。

「空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）」・「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」登録状況（平成31年3月末現在）

		小 計	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
施設 内 訳	官公庁	12	6	2	1	3
	文化施設	21	11	2	3	5
	教育・保育施設	31	16	4	3	8
	医療施設（機関）	23	10	3	2	8
	福祉・介護施設	12	4	1	3	4
	体育施設	10	5	0	1	4
	事業所	9	4	2	2	1
	交通機関	0	0	0	0	0
	飲食店	10	3	1	2	4
	宿泊施設	1	0	1	0	0
	その他施設	9	0	1	0	8
	タクシー等	95	49	11	12	23
計	233	108	28	29	68	

※青森市の空気クリーン施設認証は、本庁で対応している。

(3) 地域・職域保健連携推進事業

壮年層の健康づくりに資するために、市町村や保健所等で実施している保健サービスと職域で実施している保健事業等について相互の連携を深め、生活習慣病予防対策の円滑な推進を図る目的で実施。

地域別計画「漁業者の健康改善大作戦事業」において、「漁師の健康を考える会」を開催し、健（検）診受診率の向上を目標に戦略を話し合い、モデル地区住民への働きかけを積極的に行った。また、この取り組みを多くの方に知ってもらうために、漁協広報等の広報誌や新聞へ記事を掲載した。

※詳細は、(5) 漁業者の健康改善大作戦事業を参照

(4) 地域診断について

ア 目的

地域診断は、対象となる地域のきめ細かい観察や既存の保健統計を通して、地域ごとの問題、特徴を把握することであり、根拠に基づいた、健康政策、公衆衛生を展開していくうえで最も基本的で重要なことである。そこで、特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施し、効果的で効率的な「健活」を推進できるようにする。

イ 地域診断事業は終了しているが、町村支援の一環として地域診断を実施し、管内のデータを経年で整理した。

(5) 漁業者の健康改善大作戦事業

ア 目的

東青地域の基幹産業である『漁業を守り、さらに発展させる』ために、漁業従事者が自らの健康を考え、自ら健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の発症を予防し、健康寿命を延ばすことができるようにするために、関係機関との戦略会議、漁業従事者等を構成員として「漁師の健康を考える会」を開催している。

また本事業は、平内町の間木・東滝地区をモデルとして、平成 26 年度から町と協働で実施しているものであり、平成 28 年度から茂浦地区をモデルとして追加している。取組にあたっては、保健サイドだけでなく漁業サイドも巻き込んだ取り組みが必要と考え、平内町漁協、漁協女性部、地区の各組織等の協力を得て進めているものである。

イ 関係機関との打ち合わせ

行政における関係機関が集まり、平内町の健康課題の理解、事業を展開する上で必要な漁業に関する情報の共有、取組の計画等について検討した。

開催日	場所	内容	参集機関
H30. 4. 19 (木)	平内町役場	○情報共有 平成 29 年度事業実績について ○打合せ 漁師の健康を考える会の計画について	平内町健康増進課、東地方保健所

ウ 漁師の健康を考える会

漁業従事者の生活実態・現状を分かっている人で構成され、意見交換を通じて自分たちの健康づくり活動の取組内容や方法等の仕掛け案を考えることを目的としている。

構成員の主な役割は、①健康課題の共有、②取組内容・方法、周知等の企画案検討、③取組実施中の住民の声・反応を行政に情報提供することである。

○間木・東滝地区（場所：平内町漁業協同組合小湊支所）

開催日	内容	出席者
H30. 5. 14 (月)	【試食】 ブロッコリーのじゃこあえ 【話題提供】 ①平内町の平均寿命について ②勉強会開催のきっかけ 【グループワーク】 ①勉強会の開催時期・開催場所 ②どのような内容・テーマにしたいか	構成員 9名 オブザーバー 2名 見学者 3名 平内町 10名 東地方保健所 3名 計 27名

○茂浦地区（場所：平内町漁業協同組合茂浦支所）

開催日	内容	出席者
H30. 4. 23（月）	【試 食】 ブロッコリーのじゃこあえ 【話題提供】 茂浦地区の未来に向かって 【意見交換】 未来への第1歩へ向けて	構成員 13名 オブザーバー 4名 平内町 12名 東地方保健所 3名 計 32名
H31. 1. 15（火）	【試 食】 だしのうまみでおいしく減塩！ 【話題提供】 ①平内町健康なまちづくり宣言を実施して！ ②茂浦地区の検診について 【講 義】 食事のバランスについて考えてみよう！	構成員 11名 オブザーバー 2名 平内町 9名 東地方保健所 4名 計 26名

エ 勉強会

開催日	内容	出席者
<東滝> H30. 8. 21（木）	【試 食】 ①豆苗とホタテの辛子しょうゆゆ和え ②人参とわかめのゆずこしょう炒め ③オクラとなすのみそ汁	約 60名
<間木> H30. 8. 25（土）	【講 話】 美味しく食べて家族で減塩！ 【情報提供】 平内町の平均寿命	約 30名

オ 「住民主体による健康づくりセミナー」の開催

- ・他地域へ本取組を波及させるため、取組成果をまとめ、管内の漁協、農協、保健協力員、食生活改善推進員等を対象に活動報告を行った。その際、間木・東滝地区構成員2名にインタビュー形式で取り組んで良かった点等を発表してもらった。
- ・当日は、青森市及び管内町村から101名の参加があった。

カ 広報活動

- ・漁師の健康を考える会や地区勉強会、セミナー等開催後にヘルス新聞を作成し、関係者へ配付するとともに、当所HPへ掲載した。

キ その他

- ・保健協力員、町職員、保健所職員で健診受診勧奨及びアンケート調査を実施するため、間木地区111世帯と茂浦地区100世帯を訪問した（間木：H30. 5. 28、茂浦：H30. 7. 25）。なお、東滝地区においては、構成員が自主的に健診の受診勧奨訪問を実施した。

2 栄養改善事業

(1) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 目的

東青地域における栄養改善業務が円滑に推進できるよう、保健計画等の企画・立案の支援並びに地域住民を対象とした栄養指導等の業務に従事する者が情報を共有するとともに、資質の向上を図る。

イ 実施内容

	開催年月日	場 所	内 容	参加人員
会 議	平成31年 3月1日（金） 13:30～16:00	東地方 保健所	※母親の再喫煙対策検討会併催 1 母親の再喫煙対策について ①母親の再喫煙対策案検討 ②母親の再喫煙調査の今後の方針について 2 東地方保健所管内肥満度調査について 3 その他 ①乳幼児健診の実施方法について	町村職員 8名

※研修会は、給食施設栄養管理指導事業と合同で実施した。

(2) 給食施設等栄養管理指導事業

ア 目的

健康増進法に基づき、栄養管理の実施について、必要な指導及び助言を行い、喫食者の健康増進に寄与する。また、「健康青森地域21」の推進に向けた食環境整備の一環として行う。

イ 実施状況

①指導状況

	巡回指導対象施設				巡回指導対象外施設		総計
	特定給食施設		その他		栄養士有	栄養士無	
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無			
巡回指導延施設数(A)	6	0	14	3	0	13	36
施設来所延指導数	0	0	0	0	0	0	0
電話による相談数	0	0	0	0	0	0	0
喫食者への栄養・運動指導延人員	0	0	0	0	0	0	0
巡回指導対象施設数(B)	6	0	14	3	0	13	36
指導率 % (A÷B×100)	100	—	100	100	—	100	100

②研修会

開催年月日	場 所	内 容	参加人員
平成 31 年 3 月 5 日 (火) 14:00~16:00	アピオ あおも り	情報提供「青森県地域防災計画等について」 東地方保健所健康増進課 技師 盛 美咲 グループワーク 「災害時に備えたマニュアル、備蓄の整備について」 情報提供「給食施設の衛生管理等について」 東地方保健所生活衛生課 主幹 木村 政明	給食従事者 28名 町村職員 3名

(3) 青森のおいしい健康応援店認定事業

ア 目的

青森県健康増進計画「健康あおもり21（第2次）」の栄養・食生活分野において目標としている「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図る。

イ 実施状況

実施年度	実施件数
平成30年度	2件

ウ 普及・啓発

- ① 町村への情報提供依頼
- ② 訪問勧奨

(4) 栄養成分表示・虚偽誇大広告等・特定保健用食品

ア 目的

- ① 栄養成分表示の望ましい運営を図るため、表示の普及・啓発及び活用について、消費者及び食品業者に対し適切な相談指導を行う。
 - ・ 栄養成分表示指導 13件
- ② 食品として販売に供する物に関して行う、健康保持増進効果等に関する虚偽誇大広告等の禁止及び広告等適正化のための監視指導等を行う。
 - ・ 健康増進法32条に基づく指導 0件

3 結核予防

(1) 結核診査協議会の診査状況

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (通院公費負担)	感染症法第37条関係 (入院19条、20条)	計
30年度	3	5	8
29年度	4	1	5
28年度	8	8	16

(注)感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の略称

(2) 新登録結核患者数（活動性分類別）

平成30年1月1日～平成30年12月31日

区分 市町村	新登録者数										
	計	性別		活動性分類						潜在性 結核感染症 (別掲)	
		男	女	活動性肺結核				不活動 性結核	活動性 不明		
				喀痰塗抹陽性 初回 治療	再治療	その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他				活動性 肺外結核
平内町											
今別町											
蓬田村											
外ヶ浜町	2	2		1		1					1
平成30年計	2	2		1		1					1
平成29年計											1
平成28年計	4	4		2		2					4

(単位：人)

(3) 新登録結核患者数（年齢階級別）

※潜在性結核感染症は（ ）内に別掲

平成30年1月1日～平成30年12月31日

市町村 年齢階級	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
平内町	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
今別町	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
蓬田村	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
外ヶ浜町	()	()	()	()	()	()	()	()	2(1)	()	2(1)
平成30年計	()	()	()	()	()	()	()	()	2(1)	()	2(1)
平成29年計	()	()	()	()	(1)	()	()	()	()	()	(1)
平成28年計	()	()	(1)	()	()	(1)	(1)	1()	()	3(1)	4(4)

※年齢は登録時点

(単位：人)

(4) 全登録結核患者数（活動性分類別）

（平成 30 年 12 月 31 日現在）

区分 市町村	登録者 総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
				肺結核活動性			肺外結核活動性	治療中			観察中	
		登録時 喀痰塗抹陽性		登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性 その他							
		初回 治療	再治療									
平内町												1
今別町												
蓬田村	2	1	1	2								4
外ヶ浜町	4	4		1		2	1				1	
平成 30 年計	6	5	1	3		2	1				1	5
平成 29 年計	5	4	1	3		1	1					7
平成 28 年計	5	4	1	3			2				4	2

(単位：人)

(5) 全登録結核患者数（年齢階級別）

※（ ）内は潜在性結核感染症の別掲

平成 30 年 12 月 31 日現在

年齢階級 市町村	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
平内町	()	()	()	()	()	(1)	()	()	()	()	(1)
今別町	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
蓬田村	()	()	()	(1)	1()	()	(1)	()	()	1(1)	2(3)
外ヶ浜町	()	()	()	()	()	(1)	()	1()	2(1)	1()	4(2)
平成 30 年計	()	()	()	(1)	1()	(2)	(1)	1()	2(1)	2(1)	6(6)
平成 29 年計	()	()	()	(1)	1()	(3)	(1)	2()	()	2(2)	5(7)
平成 28 年計	()	()	(1)	()	1(1)	(1)	(1)	2()	()	2(2)	5(6)

(単位：人)

(6) 結核患者有病率及び罹患率

(人口は平成 30 年 10 月 1 日の推計人口)

区分 市町村	人口 (人)	活動性結核 患者数 (人)	有病率 (人口 10 万対)	新登録結核 患者数 (人)	罹患率 (人口 10 万対)
平内町	10,495				
今別町	2,496				
蓬田村	2,718	2	73.6		
外ヶ浜町	5,662	4	70.6	2	35.3
平成 30 年計	21,371	6	28.1	2	9.4
平成 29 年計	21,917	5	22.8		
平成 28 年計	22,416	5	22.3	4	17.8

(注) 1 有病率：人口 10 万人に対する年末時点における活動性結核患者数。

2 罹患率：人口 10 万人に対する 1 年間に新たに登録となった結核患者数(潜在性結核感染症を除く)。

(7) 定期健康診断

ア 一般住民結核健診実施状況

年・市町村	区分	エックス線検査			精密検査				指導区分		B C G		
		対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) (%)	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (D)/(C) (%)	菌検査数 (E)	要医療	要観察	対象者数 (F)	受診者数 (G)	受診率数 (G)/(F) (%)
30	平内町	4,103	908	22.1	15	12	80.0	0	-	-	45	64	142.2
	今別町	1,469	380	25.9	0	0	-	0	-	-	4	3	75.0
	蓬田村	1,128	304	27.0	1	1	100.0	0	-	-	10	12	120.0
	外ヶ浜町	2,818	722	25.6	5	3	60.0	0	-	-	14	12	85.7
	計	9,518	2,314	24.3	21	16	76.2	0	-	-	73	91	124.7
29	平内町	3,937	780	19.8	17	15	88.2	0	-	-	63	54	85.7
	今別町	1,329	308	23.2	0	0	-	0	-	-	8	8	100.0
	蓬田村	1,080	250	23.1	0	0	-	0	-	-	17	15	88.2
	外ヶ浜町	2,773	642	23.2	8	5	62.5	0	-	-	13	14	107.7
	計	9,119	1,980	21.7	25	20	80.0	0	-	-	101	91	90.1
28	平内町	3,861	785	20.3	13	9	69.2	0	-	-	45	42	93.3
	今別町	1,506	305	20.3	0	0	-	0	-	-	8	8	100.0
	蓬田村	1,143	246	21.5	11	9	81.8	0	-	-	16	14	87.5
	外ヶ浜町	2,714	576	21.2	7	7	100.0	0	-	-	12	15	125
	計	9,224	1,912	20.7	31	25	80.6	0	-	-	81	79	97.5

(単位：人)

(注) 1 (B) には間接撮影及び間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を計上。

2 エックス線検査は 65 歳以上の者のみ計上。

イ 定期健康診断実施状況

		エックス線検査			精密検査				指導区分	
		対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B) / (A) (%)	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (D) / (C) (%)	菌検査数 (E)	要医療	要観察
30	事業所長	727	721	99.2	4	2	50.0	0	-	-
	学校長	26	26	100.0	0	0	-	0	-	-
	施設長	188	188	100.0	9	9	100.0	0	-	-
	総数	941	935	99.4	13	11	84.6	0	-	-
29	事業所長	741	732	98.8	4	4	100.0	0	-	-
	学校長	42	42	100.0	0	0	-	0	-	-
	施設長	222	222	100.0	6	6	100.0	0	-	-
	総数	1,005	996	99.1	10	10	100.0	0	-	-
28	事業所長	1,039	1,014	97.6	7	4	57.1	0	-	-
	学校長	52	52	100.0	1	1	100.0	0	-	-
	施設長	443	443	100.0	19	19	100.0	0	-	-
	総数	1,534	1,509	98.4	27	24	88.9	0	-	-

(単位：人)

- (注) 1 学校長の対象者数は生徒を計上（高校入学時）。
 2 施設長の対象者数は入所者を計上（65歳以上）。
 3 学校、施設、町村の職員は事業所長の対象者数に計上（町村の職員は、病院、診療所、福祉施設等に従事する職員）。

(8) 接触者健診及び精密検査（管理検診）実施状況

		年 度	接触者健診			精密検査（管理検診）		
			総数	保健所 実施	他の受診 を確認	総数	保健所 実施	他の受診 を確認
ツ 反		30 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
BCG		30 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
X 線	間 接	30 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
	直 接	30 年度	4	2	2	23	14	9
		29 年度	6	6	0	11	10	1
		28 年度	12	0	12	9	0	9
精 密 検 査	CT検査等	30 年度	0	0	0	1	1	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
	菌検査	30 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
	赤 沈	30 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	0	0	0	0	0	0
	QFT 検査	30 年度	7	7	0	0	0	0
		29 年度	1	1	0	0	0	0
		28 年度	16	2	14	0	0	0
被発見者		30 年度	1	1	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
		28 年度	3	0	3	0	0	0

(単位：人)

(注) 保健所実施には委託医療機関実施及び定期病状調査を含む。

(9) 相談及び訪問指導状況

ア 相談

結核患者発生時の接触者健康診断及び登録患者の精密検査（従来の管理検診）に伴う相談に対応した。

イ 訪問指導

年 度	訪問件数（延べ数）	訪問件数（実数）
30年度	25 (再掲) DOTS 25	3 (再掲) DOTS 3
29年度	19 (再掲) DOTS 19	4 (再掲) DOTS 4
28年度	10 (再掲) DOTS 10	8 (再掲) DOTS 8
27年度	8 (再掲) DOTS 8	6 (再掲) DOTS 6

※ DOTSカンファレンスを含む。

(10) 結核対策事業実施状況

《特別対策事業》

地域DOTS推進事業

内 容	実施者数
地域DOTS	6

《一般対策事業》

啓発用資料等の掲示

結核予防週間の普及啓発活動として、ポスターを庁舎内に掲示するとともに、当保健所ホームページに啓発資料等を掲載した。

4 母子保健事業

(1) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

ア 目的

児童福祉法第19条の22の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等（以下「小慢児童等」という。）及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行う。

イ 対象

小児慢性特定疾病児童等、長期にわたり療養を必要とする児童

ウ 療育指導

- | | | |
|----------------|------|----|
| ① 相談・機能訓練・訪問指導 | 実人員 | 8人 |
| ② 電話相談 | 延べ人員 | 1人 |
| ③ ①の再掲 | | |

実人員	延 人 員								
	申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学	食事栄養	歯科	その他	計
8			11						11

機能訓練		訪問指導	
実人員	延人員	実人員	延人員
0	0	5	7

(2) 妊産婦支援体制整備事業

ア 目的

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、虐待に至る前に気になるレベルで適切な支援を行い、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点が重要とされ、母子保健にもその役割が求められていることから、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備する。

イ 実施状況

①母子保健ネットワーク会議

開催年月日	場 所	内 容	参加者
H30.7.9(月) 10:00~12:00	東地方保健所2階 会議室	①講話 「鱈ヶ沢町における子育て世代包括支援センターの取組～鱈ヶ沢町母子支援センターの事業内容について～」 講師：鱈ヶ沢町福祉衛生課母子支援センター 母子支援専門員 新岡 依子 氏 ②意見交換 助言者：鱈ヶ沢町福祉衛生課母子支援センター 母子支援専門員 新岡 依子 氏	管内市町村保健師 (5市町村7名) こどもみらい課 (1名) 東地方保健所 (4名) 計12名
H30.11.21(水) 14:00~16:30	ラ・プラス 青い森2階 メープル	①情報提供 「自殺リスク及び精神疾患を抱える妊産婦への対応に関するアンケート結果報告」	東青地域産婦人科 医療機関 (7施設14名) 東青地域精神科医 療機関

	②事例検討 「母子保健関係機関と精神科医療機関の連携について」 ③意見交換 「母子に関わる保健・医療・福祉関係機関の窓口一覧について」	(4施設 5名) 管内町村保健師 (4町村 7名) 青森市子育て支援課 (1名) 青森市保健所 (5名) 青森県立精神保健福祉センター (1名) 中央児童相談所 (2名) 東地方保健所 (5名) 計 40 名
--	--	---

(3) 女性の健康支援事業

ア 目的

女性は妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えている。このため、生活に密着した身近な機関において、女性がその健康状態に応じた確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談することができる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図ることを目的に平成14年度から月1回「女性の健康相談」を実施している。

イ 実施状況

- ①定期相談：0件（婦人科疾患、更年期障害に関すること）
- ②随時相談：0件（電話相談含む、不妊に関すること）

(4) 特定不妊治療費助成事業

ア 目的

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療が高額であり、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくないことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的に平成17年度から実施している。

イ 実施状況

申請件数：6件（実件数3件）

(5) 母子保健ライブラリー整備事業

ア 目的

母子保健に関する健康教育や保健指導等に活用するための専門図書、視聴覚教材、特殊模型等を整備し、母子保健関係者に閲覧、貸し出しを行うことにより、母子保健事業の充実を図る。

イ 母子保健ライブラリー教材活用状況

利用施設	品名	使用目的	借用期間
平内町健康増進課	妊娠シミュレーター 1セット 沐浴人形 2体	乳児ふれあい体験学習 (中学・高校生対象)	H30. 8. 31 ~ H30. 10. 12
外ヶ浜町福祉課	妊娠シミュレーター 2セット	中学生と乳児ふれあい体験学習	H30. 6. 1 ~ H30. 7. 13

5 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報届出状況

①精神障害者の診察

区分	申請通報 届出件数	診察の必要がない と認めた者		診察を受けた者			
		即入院	その他	精神障害者		精神障 害者で はなか った者	計
				法第 29 条該当症 状の者	法第 29 条該当症 状ではな かった者		
一般の申請 (22 条)	0	0	0	0	0	0	0
警察官の通報 (23 条)	9	0	1	6	2	0	8
検察官の通報 (24 条)	4	0	2	2	0	0	2
保護観察所長の通報 (25 条)	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長の通報 (26 条)	3	0	3	0	0	0	0
病院管理者の届出 (26 条の 2)	0	0	0	0	0	0	0
合 計	16	0	6	8	2	0	10

注) 単位：件 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

②措置入院患者 (緊急措置入院を含む)

平成 29 年度末患者数	平成 30 年度新規患者	平成 30 年度解除患者	平成 30 年度末患者数
3 人	8 人	9 人	2 人

イ 医療状況（管内精神病院の入院患者数）

①入院形態別患者年度末人数（精神科病院月報から）

区分 年度	入院				
	合計	措置	医療保護	任意	その他
30	975	4	616	354	1
29	1,008	4	655	348	1
28	1,012	6	625	380	1

注) 単位：人

②病名別入院患者年度末人数（精神科病院月報から）

区分	年度	30	29	28
症状性を含む器質性精神障害		357	349	344
アルツハイマー病型認知症		177	184	174
血管性認知症		47	41	46
上記以外の症状性を含む器質性精神障害		133	124	124
精神作用物質による精神及び行動の障害		46	52	46
アルコール使用による精神及び行動の障害		40	48	43
覚せい剤による精神及び行動の障害		1	1	1
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害		5	3	2
統合失調症、統合失調症障害及び妄想性障害		439	463	483
気分（感情）障害		56	75	69
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害		35	24	69
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群		7	5	6
成人のパーソナリティ及び行動の障害		7	10	8
精神遅滞（知的障害）		11	13	22
心理的発達障害		11	11	9
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害		2	4	2
てんかん（F0に属さない計上）		1	1	1
その他		3	1	4
	計	975	1,008	1,012

注) 単位：人

ウ 精神障害者保健福祉手帳交付件数 (平成30年4月～平成31年3月)

区分 市町村	交付者累計数				平成30年度新規交付者数			
	合計	1級	2級	3級	合計	1級	2級	3級
合計	3,593	1,222	2,028	343	301	32	201	68
青森市	3,368	1,144	1,896	328	290	31	194	65
平内町	121	42	73	6	2	1	0	1
今別町	23	4	17	2	3	0	3	0
蓬田村	24	8	14	2	2	0	1	1
外ヶ浜町	57	24	28	5	4	0	3	1

注) 単位：件

エ 精神科救急医療システム事業実績 (平成30年4月～平成31年3月)

区分 医療機関	当番実施日数		空床確保 日数 (日)	対応件数			
	休日 (日中)	夜間 (平日・休日)		電話のみ	来院	入院	合計
青森県立つくしが丘病院	61	122	122	0	64	25	89
浅虫温泉病院	8	64	64	3	3	9	15
芙蓉会病院	22	97	97	46	25	20	91
生協さくら病院	30	81	81	122	63	14	199
青い森病院	0	1	1	0	0	0	0
合計	121	365	365	171	155	68	394

注) 単位：件

オ 医療保護入院患者の市町村別、病名別、男女別患者数
(平成30年4月～平成31年3月)

区分 市町村	総数		症状性を含む器質性精神障害 及び行動の障害	精神作用物質使用による精神 及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性障害、ストレス関連障 害及び身体表現障害	関連した行動症候群	生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症 する行動の障害等	てんかん	その他・分類不明
	男	女													
青森市	男	415	171	24	139	28	10	2	0	14	15	9	3	0	
	女	564	292	14	173	45	16	2	7	5	4	5	1	0	
	計	979	463	38	312	73	26	4	7	19	19	14	4	0	
平内町	男	14	3	1	5	1	0	0	0	1	0	0	3	0	
	女	34	16	0	9	1	3	0	0	5	0	0	0	0	
	計	48	19	1	14	2	3	0	0	6	0	0	3	0	
今別町	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	15	14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	20	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蓬田村	男	8	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	12	5	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
外ヶ浜町	男	13	4	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	女	17	14	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	30	18	3	5	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	男	455	184	28	154	31	10	2	0	15	15	9	6	1	
	女	634	340	14	184	48	10	2	7	10	4	5	1	0	
	計	1,089	524	42	338	79	29	4	7	25	19	14	7	1	

注1) 医療保護入院患者で、保健所に入院届及び定期病状報告の届出のあった者の合計

注2) 単位：人

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者の市町村別、病名別、男女別患者数
（平成30年4月～平成31年3月）

区分 市町村	総数		症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	関連した行動症候群	生理的障害及び身体的要因に	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞（知的障害）	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	てんかん	その他・分類不明
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
青森市	男	2,052	49	109	723	475	66	1	8	49	141	41	220	170	
	女	2,757	68	33	971	932	132	13	23	40	92	54	230	169	
	計	4,809	117	142	1,694	1,407	198	14	31	89	233	95	450	339	
平内町	男	71	1	1	32	19	3	0	0	4	0	0	9	2	
	女	79	2	2	37	20	5	0	0	0	2	0	9	2	
	計	150	3	3	69	39	8	0	0	4	2	0	18	4	
今別町	男	19	0	1	6	6	0	0	0	2	0	0	3	1	
	女	15	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	2	2	
	計	34	0	1	13	10	0	0	0	2	0	0	5	3	
蓬田村	男	21	0	1	9	8	1	0	0	0	0	0	2	0	
	女	19	1	0	8	6	0	0	0	0	0	0	2	2	
	計	40	1	1	17	14	1	0	0	0	0	0	4	2	
外ヶ浜町	男	42	1	2	15	4	1	0	0	9	1	0	7	2	
	女	47	2	0	17	14	3	0	0	4	0	0	4	3	
	計	89	3	2	32	18	4	0	0	13	1	0	11	5	
合計	男	2,205	51	114	785	512	71	1	8	64	142	41	241	175	
	女	2,917	73	35	1,040	976	140	13	23	44	94	54	247	178	
	計	5,122	124	149	1,825	1,488	211	14	31	108	236	95	488	353	

注1) 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者の合計

注2) 単位：人

(2) 精神保健福祉相談実施状況

ア 相談件数

(件)

区 分	年 度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
	合 計		(27) 149	(27) 97
来 所		(1) 6	(1) 3	(4) 4
電 話		(26) 143	(26) 94	(15) 24

注1) () 内は実数

イ 平成 30 年度目的別相談件数

(件)

相談内容	受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスの利用について	ひきこもりについて	その他	計
総延件数	12	11	67	4		1			4	2	1	1		46	149

(3) 訪問指導状況

(件)

区 分	年 度	平成 30 年度 訪 問 内 容											平成 29 年度	平成 28 年度
		合 計			保健師（相談員を含む） に よ る			その他職員による			平成 29 年度	平成 28 年度		
		一 般	社会 復帰	老 人	計	一 般	社会 復帰	老 人	計	一 般				
(実人員) 延人員	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0

注1) () 内は実数

(4) 精神障害者地域生活支援広域調整等事業

ア 目的

精神障害者のうち1年以上の長期入院をしている者（支援がなければ1年以上の入院が見込まれる者も含む）について、地域移行支援を推進するための体制整備をする。

精神障害者の地域移行支援については平成23年度から実施しており、国の動向に合わせて事業が組み換えとなっている。

なお、当管内では、東青地域全体で精神障害者の地域移行支援に取り組むため、平成29年度から、青森市が主催している相談事業所等を対象とした青森市地域相談支援連絡会と合同開催している。

開催年月日	場所	内容	出席者
平成30年 6月29日 (金)	青森県 総合社会 教育セン ター	1 情報提供 (1) 12月の連絡会議以降の青森市と東地方保健所との話し合い・取り組み状況の報告 (2) 平成30年2月に参加した官民協働・医療と福祉の連携研修会の報告 (3) 地域移行支援を利用して退院した方の語りについて 2 グループワーク (1) 12月の連絡会議からの振り返り（取り組みについて点検） (2) グループごとの次回連絡会までの目標設定	医療機関、相談支援事業所、町村等 51名 青森市 7名 当所 4名
平成30年 12月20日 (金)	青森県立 図書館	1 情報提供 (1) 長期在院者の状況について (2) 東地方保健所と青森市による取組状況の報告 (3) ピアサポーター養成研修実施報告 (4) 青森市自立支援協議会「精神障害者地域生活支援部会」取組状況報告 2 グループワーク (機関毎及び医療機関毎で実施) 6月の会議で設定した各グループの取組状況報告	医療機関、相談支援事業所、町村等 45名 青森市 8名 当所 3名

(5) 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

ア 多分野合同研修会

自殺総合対策大綱（平成24年8月28日閣議決定）では、「自殺は、その多くが追い込まれた末の死」であり、「その多くを防ぐことのできる社会的な問題」であるとの自殺総合対策の基本認識が示されており、国、地方公共団体、関係団体、民間団体、企業、国民等の関係者の連携による包括的な生きる支援を展開することが重要であるとしている。

これ踏まえ、地域の実情に応じた包括的な自殺対策の推進により、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向け、社会全体の自殺リスクを低下させていくことを目的として、研修会を開催しているものである。

なお、平成30年度は、母子保健関係機関と精神科医療機関との顔の見える連携体制の構築を目的に、母子保健ネットワーク会議と併催で実施した。

開催年月日	場所	内容	出席者
平成 30 年 11 月 21 日 (水)	ラ・プラス 青い森	1 自殺リスク及び精神疾患を抱える妊産婦への対応に関するアンケート結果報告 2 事例検討 「母子保健関係機関と精神科医療機関の連携について」 3 母子に関わる保健・医療・福祉関係機関の窓口一覧について	管内市町村 13 名 青森市内精神科医療機関 5 名 青森市内産科医療機関 14 名 精神保健福祉センター 1 名 児童相談所 2 名 当所 5 名

(6) 心の健康づくり推進事業

ア 定期相談 実施なし

イ 随時相談 0 件

(7) 関係機関等連絡会議

ア 精神科救急医療システム連絡調整委員会

目 的

精神科救急医療システムの実施体制、運営方法や稼働状況を点検し、救急医療に係る施設、機関の連携に関する情報交換をするために開催した。

開催年月日	場 所	内 容	出 席 者
平成 31 年 2 月 13 日 (水)	東地方保健所 2 階会議室	1 報告 (1)平成 30 年度青森ブロック精神科救急医療システム事業実績 (2)東青地域における通報・入院・通院・手帳所持者の状況 (3)東青地域における自殺者及び自殺未遂者の現状 2 協議 かかりつけ医療機関について 3 その他	委員等 11 名 事務局 7 名

6 難病

(1) 特定医療費支給認定

平成27年1月から難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）が施行され、難病（発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない希少な疾病であって、長期の療養を必要とするもの）のうち、厚生労働大臣が定める「指定難病」については、患者の医療費の負担軽減を目的として、一定の認定基準を満たしている場合、その治療に係る医療費の一部を助成している。

市町村別特定医療受給者証所持者数（平成31年3月31日現在）

単位：人

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	2					2
2	筋萎縮性側索硬化症	31	2			1	34
3	脊髄性筋萎縮症	1					1
4	原発性側索硬化症	1					1
5	進行性核上性麻痺	20		1	1	1	23
6	パーキンソン病	321	17	8	5	7	358
7	大脳皮質基底核変性症	9	1	1		1	12
8	ハンチントン病	1					1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	1				4
11	重症筋無力症	50	3	1	2	1	57
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	65	2		2		69
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	11					11
17	多系統萎縮症	33	3		0		36
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	111	27		1	1	140
21	ミトコンドリア病	4					4
22	もやもや病	15					15
26	HTLV-1関連脊髄症	2					2
28	全身性アミロイドーシス	4	1				5
30	遠位型ミオパチー	4					4
34	神経線維腫症	5					5
35	天疱瘡	7	1		1		9
36	表皮水疱症	1					1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	7					7
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1					1
40	高安動脈炎	6	2				8
41	巨細胞性動脈炎	1					1
43	顕微鏡的多発血管炎	20		1			21
44	多発血管炎性肉芽腫症	5					5
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	1				10
46	悪性関節リウマチ	17					17
47	パージャール病	19				1	20
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8					8
49	全身性エリテマトーデス	151	3	1	1	3	159
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	41	2	1			44
51	全身性強皮症	29	1		1		31
52	混合性結合組織病	11					11
53	シェーグレン症候群	15	1			1	17
54	成人スチル病	9	2				11
55	再発性多発軟骨炎	1					1
56	ベーチェット病	40	2	1			43
57	特発性拡張型心筋症	12			1		13
58	肥大型心筋症	6					6
60	再生不良性貧血	19	1				20
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3					3
63	特発性血小板減少性紫斑病	45	2			3	50
66	IgA腎症	44	1	1		1	47
67	多発性嚢胞腎	16	1	1			18
68	黄色靭帯骨化症	16					16
69	後縦靭帯骨化症	89	2	1		3	95
70	広範脊柱管狭窄症	2				2	4
71	特発性大腿骨頭壊死症	44	1	1			46

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	計
72	下垂体性ADH分泌異常症	5					5
73	下垂体性TSH分泌亢進症	1					1
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8					8
75	クッシング病	1		1			2
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12	2				14
78	下垂体前葉機能低下症	56	1	1	1	1	60
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1					1
84	サルコイドーシス	35	4				39
85	特発性間質性肺炎	39	2	2	1	3	47
86	肺動脈性肺高血圧症	7					7
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8	1				9
89	リンパ脈管筋腫症	7					7
90	網膜色素変性症	22	1				23
91	バッド・キアリ症候群	3					3
92	特発性門脈圧亢進症	1					1
93	原発性胆汁性肝硬変	69	1		2	1	73
94	原発性硬化症胆管炎	4					4
95	自己免疫性肝炎	4					4
96	クローン病	117	3	1		1	122
97	潰瘍性大腸炎	252	9	1		4	266
111	先天性ミオパチー	1					1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1					1
113	筋ジストロフィー	39		1		1	41
122	脳表へモジデリン沈着症	1					1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1					1
127	前頭側頭葉変性症	5	1				6
156	レット症候群	1					1
158	結節性硬化症	1					1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	5	1	1			7
167	マルファン症候群	1					1
171	ウィルソン病	1					1
179	ウィリアムズ症候群	1					1
193	プラダー・ウィリ症候群	1					1
209	完全大血管転位症	1					1
212	三尖弁閉鎖症	1					1
215	ファロー四徴症	2					2
216	両大血管右室起始症	1					1
220	急速進行性糸球体腎炎	2					2
222	一次性ネフローゼ症候群	27	2	1			30
224	紫斑病性腎炎	1					1
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1			1		2
227	オスラー病	2					2
228	閉塞性細気管支炎	1					1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1					1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1					1
271	強直性脊椎炎	3					3
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	2					2
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症-2	2					2
292	総排泄腔外反症	1					1
300	IgG4関連疾患	2					2
306	好酸球性副鼻腔炎	6	1				7
309	進行性ミオクロームステんかん-1	1					1
331	多発性多中心性キャッスルマン症	1					1
	計	2,157	109	28	20	37	2,351

※指定難病：平成27年1月～110疾病、平成27年7月～306疾病、平成29年4月～330疾病、平成30年4月～331疾病

(2) 特定疾患治療研究事業

原因が不明であって、治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、56の特定疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、医療費も高額であるので、従来から特定疾患治療研究を推進するとともに患者の医療費の負担軽減を図っている。

なお、難病法が施行されたことに伴い、平成27年1月から本事業の対象疾患は5疾患となっている。

特定疾患医療受給者証所持者数 (平成31年3月31日現在)

単位:人

疾病番号	疾患名	受給者数
1	スモン	2
2	プリオン病 (ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)	0
3	重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0
5	重症急性膵炎	1
	合 計	3

(3) 難病患者相談事業等

①市町村への情報提供（避難行動要支援者のため）

- ・災害時避難対策支援に係る県から市町村への難病患者に関する情報提供については、「市町村への特定疾患医療受給者に関する個人情報提供の実施手順」（平成25年3月18日付け青保第1271号「市町村への特定疾患医療受給者に関する個人情報提供について」）に基づき実施していた。
- ・平成26年11月の災害対策基本法の改正に伴い、新たに平成28年2月16日付け青保第2033号通知され、県から市町村への難病患者に関しての情報提供の際は、本人同意書を不要とし、県は市町村の求めに応じ、保有する情報を提供することとなった。

②医療相談

第1回目	第2回目
日時：平成30年8月29日（火）13:00～15:00 会場：外ヶ浜町総合福祉センターなどわーる 対象：難病患者及びその家族 内容：①勉強会 テーマ：「自宅で気軽にできるリハビリについて」 講師：外ヶ浜中央病院 理学療法士 吉田司秀子 ②交流会 参加者：患者7名（パーキンソン病4名、全身強皮症1名、天疱瘡1名）、患者家族等4名、居宅介護支援事業所2名、蓬田村5名、外ヶ浜町1名、難病患者等訪問相談員1名、保健所5名 計25名	日時：平成30年12月14日（金）10:00～16:00 会場：ケース宅3件 対象：神経・筋疾患及び骨・関節系疾患患者及びその家族 内容：個別医療相談 参加者：患者3名（脊髄小脳変性症1名、筋萎縮性側索硬化症1名、パーキンソン病1名）患者家族1名、平内町理学療法士2名、ケアマネージャー1名、平内町保健師4名、保健所2名 計10名

(4) 患者会支援

- ・訪問等の個別支援を通じて、会の活動の周知を行った。

(5) 健康相談状況

年 度	個別相談（所内面接）延件数	電話相談延件数
30	185	28
29	115	44
28	287	23

(6) 保健師による家庭訪問

年 度	訪問延件数 (実数)	内 容			
		筋萎縮性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・多系統萎縮症	パーキンソン病	その他
30	104(91)	9(3)	10(10)	48(15)	37(63)
29	176(83)	6(2)	32(17)	39(17)	99(47)
28	116(72)	4(2)	27(18)	38(19)	47(33)

(7) 難病患者等訪問相談員による訪問相談

年 度	訪問延件数 (実数)	内 容			
		筋萎縮性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・多系統萎縮症	パーキンソン病	その他
30	14(8)	0	6(4)	3(2)	5(2)
29	18(8)	0	7(4)	5(2)	6(2)
28	15(9)	0	9(5)	2(2)	4(2)

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

近年の少子・高齢化の進行、疾病構造の変化等により、複雑・多様化する県民の保健・医療・福祉ニーズに的確に対応できるように、保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築を推進する。

サービス提供にあたっては、地域住民が生涯にわたり、住みなれた地域で健康で安心した生活を送ることができるよう、利用者本位の視点で保健・医療・福祉サービスを総合的・一体的に提供することを目標とする。

そのためには、住民に最も身近な市町村単位で保健・医療・福祉包括ケアシステムを構築することが必要であることから、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実へ向けた取組みに対して支援を行っている。

(1) 認知症地域連携促進事業

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地位のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現にむけ、二次保健医療圏（保健所）毎に管内の認知症支援に関する事項の検討会や研修会等を開催し、認知症施策の向上に資することを目的に、平成28年度から実施している。

なお、平成29年度までは「青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議」と併催で開催していたが、当該会議が廃止されたことから、実務者レベルでの意見交換や検討ができるよう体制の見直しを行った。

これを受けて、平成30年度は、管内の認知症疾患医療センターである県立つくしが丘病院と共催で研修会を開催した。

開催日時	開催場所	実施内容	出席者
平成30年9月27日（木） 13:30～15:30	東地方保健所	1 情報交換 認知症対策の取組状況について	管内町村 4名 地域包括支援センター 2名
		2 事例提供	居宅介護支援事業所 4名
		3 意見交換 認知症患者を支援して行くために 必要なこと	認知症疾患医療センター 3名 高齢福祉保険課 1名 当所 4名

(2) 青森脳卒中地域連携パス連絡協議会

青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステムのツールの一つである「青森圏域脳卒中地域連携パス」（以下、「パス」と略記。）に携わる医師、看護師、リハビリテーション担当職員、橋渡し担当職員及び維持期施設担当職員が、脳卒中患者の円滑な日常生活復帰に向けた切れ目ないサービス提供を図るために、パス運用の現状と課題について職種ごとの分科会及び全体会で意見交換を行った。

開催日時	開催場所	実施内容	参加者数
平成30年6月29日（金） 17:50～20:00	リンクステーションホール	第1回 世話人会・協議会 座長：青森県立中央病院脳卒中ケアユニット部長 布村仁一 1. 報告 ・パスのあおもりメディカルネットでの本格運用について ・パスの様式改訂について ・急性期在院日数の短縮について ・青森新都市病院の世話人施設参加について 2. 症例検討（2事例）	213名（延） 保健所参加職員（所長他2名）
平成30年11月19日（月） 18:10～19:40	アピオあおもり	第2回 世話人会・協議会 1. 報告 ・脳卒中地域連携パスの実施状況について ・あおもりメディカルネットを利用したパスの運用について ・電子署名機能の追加について	126名（延） 保健所参加職員（健康増進課長）
平成31年2月18日（月） 18:00～20:00	ラ・プラス 青い森	第3回 世話人会・協議会 1. 報告 ・平成31年度協議会開催予定 ・あおもりメディカルネットでのパス運用について ・嚥下食対応表の更新について 2. 意見交換会 ・パスに関する問題点等について意見交換	102名（延）

(3) 東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会

東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会において、医療機関地域医療連携室、地域包括支援センター及び介護老人保健施設等の施設で橋渡しに携わっている職員が、患者の退院調整等に係る切れ目ないサービス提供を図るため、「顔の見える関係」づくりや研修及び情報交換を目的に行っている。

平成28年度より、青森市保健所保健予防課がオブザーバーとして参加している。

開催日時	開催場所	実施内容	参加者数
平成30年6月7日(木) 17:30~19:00	東地方保健所	第1回役員会 1 協議 (1) 30年度の活動予定について (2) 30年度の研修会について 2 情報交換	役員 5名 保健所 3名 オブザーバー 4名
平成30年9月13日(木) 17:30~19:00	東地方保健所	第2回役員会 1 協議 研修企画(提供事例、グループワーク、 通知について) 2 情報交換	役員 5名 保健所 3名 オブザーバー 3名
平成30年10月10日(水) 17:30~19:00	東地方保健所	第3回役員会 1 協議 研修会準備(資料、グループワーク、役 割分担について) 2 情報交換	役員 4名 保健所 3名 オブザーバー 3名
平成30年10月17日(水) 14:00~16:30	ラ・プラス青 い森 2階 メープル	‘事例から学ぶ’多職種連携研修会 1 事例提供 有料老人ホームでの初めての看取り 2 グループワーク 看取りを行うために必要なこと 3 全体共有・助言 4 講話 看取り支援を行う上で知ってほしいこ と	保健・医療・福祉関係者 95名 役員 5名 事務局 6名

(4) 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供すること及び居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進することを目的に、二次医療圏域(保健所)毎で入退院調整ルールの策定等を行っている。当管内では、平成29年4月から、青森市高齢者支援課が主体となり策定した入退院調整ルールに東郡全体を含める形で運用している。

また、平成30年度は、県高齢福祉保険課が医師会に委託し、医師会が主導で実施した在宅医療・介護連携体制の構築を支援するための懇談会を所内で開催し、管内の在宅医療・介護連携推進事業の取組状況等を把握した。

8 感染症予防

(1) エイズ予防関係

相談内容は、「HIV」「肝炎」「その他感染症」が含まれる。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
30年度	28	15	26	3	26	3	0	0
29年度	14	5	15	3	14	3	1	0
28年度	31	9	15	6	13	6	2	0
27年度	43	9	8	8	8	8	0	0

注1) 単位: 件

(2) 感染症発生状況

疾患 年次	一類	二類	三類	四類
			結核	腸管出血性大腸菌感染症
30年	0	3	0	0
29年	0	0	0	0
28年	0	8	0	0
27年	0	4	0	0

五類感染症全数把握疾患は過去3年間の発生届はなかった。

注1) 単位: 件

注2) 届出があった疾患のみ記載。

(3) 感染症発生動向調査年次別状況 (定点報告数)

区分	30年	29年	28年	27年	26年
インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	126	84	104	120	148

※ 平成25年以降のインフルエンザ以外の報告数については、24年に管内小児科定点が廃止となったため、定点報告数としては、計上されない。

注1) 単位: 件

注2) 1月～12月集計

(4) 肝炎治療費助成（青森県肝炎治療特別促進事業）

平成 20 年度から青森県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づき、保健所を窓口にして肝炎インターフェロン治療を受けようとする者に医療費の助成が始まった。

平成 22 年度から肝炎アナログ製剤治療が新たに医療費の助成となった。

青森市を含む東青地域を中心に県内各地域からの申請書類の受付及び相談業務を行っている。

平成 26 年度からインターフェロンフリー治療が新たに医療費助成の対象となった。

肝炎治療受給者証新規申請件数

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

年度	新規申請	内 訳				
		インターフェロン治療	核酸アナログ製剤治療	3 剤併用治療	インターフェロンフリー治療	インターフェロンフリー治療(再治療)
30 年度	99	0	27	0	67	5
29 年度	109	0	24	0	71	14
28 年度	163	0	37	1	120	5

9 組織の育成

(1) 保健協力員研修会等

ア 目的

保健協力員活動に関する情報交換と地域における健康問題についての学習を行い、保健協力員活動の活性化と地域住民の健康水準の向上を図る。

イ 実施状況

会議名	開催年月日	場所	内 容	参加員
東地方保健協力員研修会	平成 30 年 8 月 30 日(木) 10:15~14:15	今別町開発センター	研修内容 (1) 平成 30 年度東地方保健協力員連絡会総会 (2) 今別町保健協力員活動報告 (3) 健康体操 「津軽弁ラジオ体操」「コグニサイズ」「拮抗体操」 (4) 講話「姑 VS 嫁 絶対おまえが盗ったんだ!!」 講師：じゅんちゃん一座 (5) グループワーク 「認知症の人の見守り方、自分たちができること」 助言者：じゅんちゃん一座 座長 竹内 淳子	81 人
第一回・第二回役員会	平成 30 年 6 月 5 日(火) 10:00~12:00	東地方保健所	協議内容 (1) 東地方保健協力員連絡会役員体制について (2) 平成 29 年度東地方保健協力員連絡会事業実施状況について (3) 平成 30 年度東地方保健協力員連絡会事業計画案について (4) その他	13 人
	平成 30 年 12 月 11 日(火) 10:00~12:00		協議内容 (1) 平成 30 年度東地方保健協力員連絡会事業報告について (2) 平成 31 年度東地方保健協力員連絡会事業計画案について (3) その他	12 人

ウ 保健協力員数

年 度	合 計	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
30	298	89	74	37	20	78

(2) 食生活改善推進員の養成及び育成

ア 目的

地域における健康づくり及び食生活改善を推進する指導的人材を育成するため、健康づくり支援者（ヘルスサポーター）となるボランティアリーダー等の人材育成に努める。

イ 実施状況

事業名	開催年月日	場 所	事 業 内 容	参加 人員
総会・研修会	平成30年 5月18日(金)	アピオ あおもり (青森市)	【総会】 ・平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画 ・平成29年度決算報告及び平成30年度収支予算 ・情報提供 「調味料の計量方法について～減塩の基本は計量から～」 東地方保健所健康増進課 技師 盛 美咲 【研修会】 ・講話 「健康と食事」 東地方保健所健康増進課 総括主幹 山田淑子	会員 40名 町村 事務局 6名 保健所 3名
合同料理講習会	平成30年 10月16日(火)	アピオ あおもり (青森市)	【調理実習】 生涯骨太クッキング及び東地方保健所版災害時のレシピ集 【ミニ講話】 「食物繊維について」 東地方保健所管内食生活改善推進員連絡協議会 会長 本堂 順子 東地方保健所健康増進課 技師 盛美咲	会員 21名 町村 事務局 5名 保健所 1名
理事会	平成30年 4月18日(水) 6月15日(金) 平成31年 3月26日(火)	東地方保健所 会議室	・平成30度総会・研修会準備 ・会長伝達事項（県理事会報告等） ・合同料理講習会について ・事業計画について ・平成30度管内食改事業進捗状況について ・平成31度総会・研修会について 等	(延39名)

ウ 食生活改善推進員会員数

年度	合 計	平内町	今別町	外ヶ浜町			蓬田村
				蟹田地区	平舘地区	三厩地区	
30	110	34	15	20	14	18	9

10 地域保健関係者研修

(1) 目的

多様化、高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域で安心して生活できるよう、その支援者である地域保健関係者が健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携を強化することを目的とする。

(2) 対象

ア 地域健康福祉部職員及び町村の保健・医療・福祉関係職員

イ 研修目的に応じた、保健・医療・福祉分野以外の関係者及び住民組織、ボランティア団体等

(3) 実施状況

年月日	研修内容		対象者	受講者数				
	テーマ	講師等		県	市町村	関係機関	その他	計
1 H30.7.9	【第1回保健師業務連絡会議（リーダー会議）】 1. 「鯉ヶ沢町における子育て世代包括支援センターの取組～鯉ヶ沢町母子支援センターの事業内容について～」 意見交換 ※母子保健ネットワーク会議と併催 2. 「災害時の保健活動を考える」～避難所運営ゲーム 避難所 HUG～	鯉ヶ沢町福祉衛生課 母子支援専門員 新岡 依子氏 保健総室総括主幹 (指導予防課長) 小笠原 和彦	・管内リーダー等保健師 ・管内母子保健担当者 ・所内保健師 ・こどもみらい課職員	5	7			12
2 H30.9.19	【第1回初任期・新任期保健師研修】 保健師記録の考え方と書き方について	弘前学院大学看護学部 公衆衛生看護学教授 柳澤 尚代氏	・管内市町村初任期・新任期保健師 ・所内保健師	4	7	1		12
3 H30.10.17	【東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会研修会】 1. 講話 看取りを行う上で知ってほしいこと 2. 事例検討「有料老人ホームでの初めての看取り」	青森県立中央病院 医療監理官 小野 正人氏 合同会社クロバー社長 平山 豊和氏	・東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会会員 ・東青管内保健・医療・福祉関係者	11		95		106
4 H30.11.21	【母子保健ネットワーク会議】 母子保健関係機関と精神科医療機関との連携について（事例検討） ※自殺対策多分野合同研修会と併催	青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター長 尾崎 浩士氏 青森県立精神保健福祉センター所長 田中 治氏	・青森市内産科精神科医療機関 ・青森市・管内町村母子保健担当職員 ・東青地域県民局地域健康福祉部職員	8	13	19		40
5 H31.1.29	【第2回保健師連絡会議】 1. 「糖尿病の食事療法～食事指導の実際～」 講話及び試食 2. 情報交換 各市町村の糖尿病重症化予防の取組状況について	青森県立中央病院 栄養管理部 管理栄養士 下山 恵里香氏 がん・生活習慣病対策課 主幹 青木 範子氏	・管内町村保健師 ・青森市保健師 ・所内保健師 ・がん・生活習慣病対策課職員	7	8			15
6 H31.2.20	【第3回初任期・新任期保健師研修】 保健師記録/セカンド研修～振り返り演習・グループディスカッション～	弘前学院大学看護学部 公衆衛生看護学教授 柳澤 尚代氏	・管内市町村初任期・新任期保健師 ・所内保健師	4	6			10
合計				39	41	115		195

1 1 医療技術者等研修

(1) 目的

看護学生及び栄養士学生が、保健医療福祉行政の中の保健所の機能及び役割、保健所の業務内容について、理解を深めることができるようにする。

また、講義・演習・体験（見学実習等）を通して、看護学生においては、保健所保健師の機能や役割を理解し、地域看護活動の展開に必要な知識、技術、態度の習得、栄養士学生においては、管理栄養士の役割や業務、他職種との連携について理解し、栄養改善業務の実践に必要な知識、技術、態度の習得を図るものである。

種別	実習名	学校名等	実習期間	人数
看護 学生	地域看護学 実 習	弘前学院大学看護学部看護学科 4年次	H30. 5. 29(火)～H30. 6. 1(金)	7人
		青森県立保健大学健康科学部看護学科 4年次	H30. 7. 10(火)～H30. 7. 13(金)	5人
		青森中央学院大学看護学部 4年次	H30. 8. 20(月)～H30. 8. 23(木)	4人
栄養 学生	公衆栄養学 臨地実習	青森県立保健大学健康科学部栄養学科 3年次	H30. 6. 18(月)～H30. 6. 22(金)	4人
		東北女子大学家政学部健康栄養学科 4年次	H30. 7. 22(月)～H30. 6. 26(金)	2人